

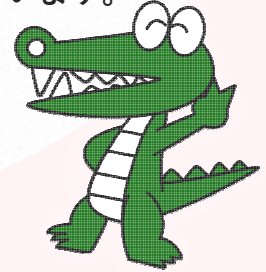


とよなかの環境

2021年度 速報版

豊中市では「第3次豊中市環境基本計画」に基づいて環境施策を進めています。「とよなかの環境・速報版」（環境報告書）では2021年度（令和3年度）の活動実績をふまえて、環境目標に対する取組みの進ちょく状況の速報結果等を公表しています。

市民のみなさんからのご意見、ご提案を受けて、今後の施策の展開・事業の見直しを行います。



環境目標

目標
1

よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む



目標
2

1人あたり温室効果ガス排出量（t-CO₂）を令和9年度（2027年度）までに、平成2年度（1990年度）比32.1%削減し、低炭素社会をめざす



目標
3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)までに平成28年度(2016年度)比8%削減し、循環型社会の構築をめざす



目標
4

みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす



目標
5

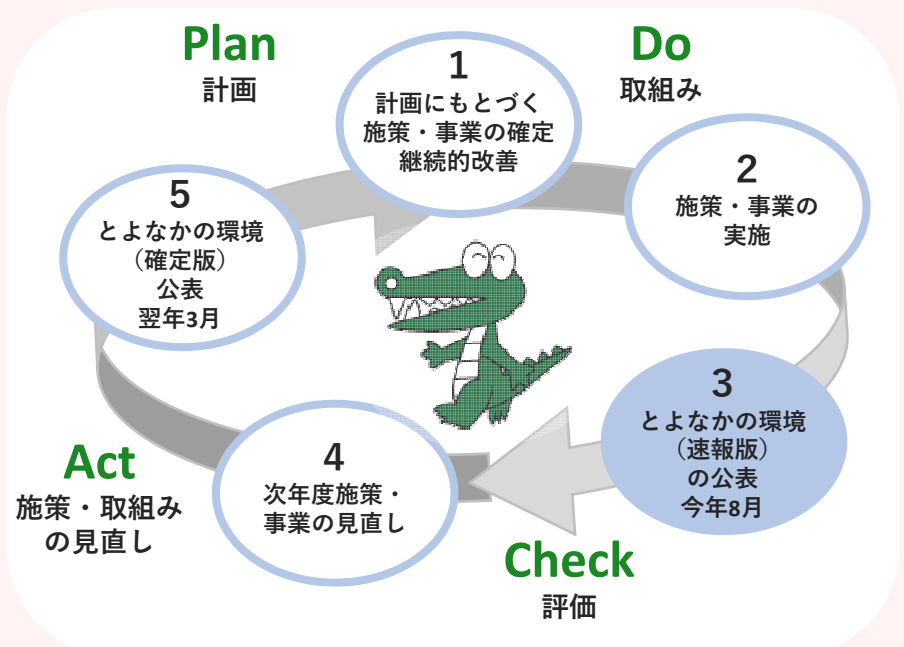
環境基準の達成状況100%で快適な都市環境をめざす



計画の進め方

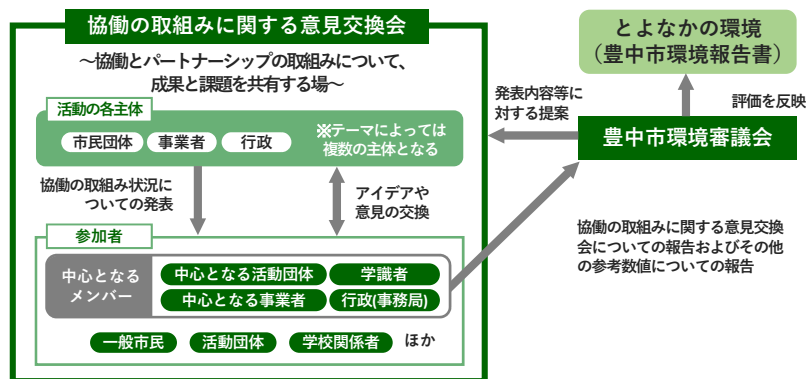
計画の推進を着実に図るために、PDCAサイクルによって毎年度、活動を評価し、進行管理を行っています。

進行管理の中で、環境報告書を8月（速報版）と3月（確定版）に公表し、環境審議会と市民のみなさんからのご意見やご提案をもとに施策・事業を見直し、改善を図りながら、目標の実現をめざして取り組んでいきます。



目標 1

協働とパートナーシップの取組みに対する評価のプロセス



協働とパートナーシップの進行管理

多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

豊中市環境審議会では、意見交換会の結果と参考数値の動向をふまえて進行管理を行います。

進ちょく評価

速報版では、「持続可能なごみ減量の推進」をテーマに実施した「協働の取組みに関する意見交換会」での一部の内容を紹介しています。

詳しい内容については、2023年（令和5年）3月発行の「とよなかの環境・確定版」で公表する予定です。

目標 2～5

環境目標

各環境分野ごとに環境目標を設定しています。

市の取組み

市の主な取組み内容を紹介しています。

指標の進ちょく状況

代表指標は目標達成に最も影響を与えるものです。その他の指標は、代表指標を補完または影響を与えるものです。

家庭や事業所でできること

環境目標に向けて市民や事業者のみなさんに取り組んでほしいことを記載しています。

取組紹介

活動団体・事業者等の取組み事例を紹介しています。

評価の判断基準

環境基本計画の進行管理として、目標2・4は、代表指標に目安線をひいています。目安線と数値の関係や前年度との比較でA～Dをつけています。

目標3は、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の年度目標値に比較して評価をつけています。

- A** 今年度の目標を達成しました
目標達成のめやす以下かつ前回値以下
- B** 今年度の目標を達成しましたが、さらに努力が必要です
目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
- C** 改善の傾向にありますが、更なる努力が必要です
目標達成のめやすより大きく、前回値以下
- D** 改善の傾向がありません
目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい

備考：目標4は以上を以下、以下を以上に読み替える。大きいを小さいに読み替える。

目標5は、すべての環境基準を達成した場合「A」、達成していない場合「D」をつけています。

要因分析

代表指標および指標が「どうしてこのような結果になったのか」を市で要因分析しています。



豊中市環境審議会からの評価

市民・事業者・市民団体・学識経験者などで構成された豊中市環境審議会において、環境基本計画に関することや環境の保全および創造に関する基本的事項を調査審議しています。豊中市環境審議会から、環境目標に対する取組みの評価をいただきました。

豊中市の推計人口	
2020年度	400,834人（年度末時点）
2021年度	399,965人（年度末時点）
2022年度	399,921人（8月1日時点）

豊中市の人口と比べながら、成果を見てみよう



目標 1

よりよい環境をめざして 多様な主体のパートナーシップで 取り組む



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 動画共有サイトYouTube「とよなか環境TV」にて、随時環境に関する情報を発信
- ◆ 西宮市、尼崎市、吹田市と、地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定を締結
- ◆ 隠岐の島町、能勢町と森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結

2021年度の協働の進ちょく状況

「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマは
「持続可能なごみ減量の推進」です。



◆ 集団回収の取組み ◆

曾根グリーンハイツ
豊中市 家庭ごみ事業課

市の実施する再生資源集団回収活動を通じて安否確認を行ったり、集団回収の報奨金を住民のサークル活動等に充てるなどして、コミュニティを活性化。



- ・ 少子化高齢化等による登録団体数の減少

◆ 子ども服リユースの取組み ◆

(一社)ソーシャルギルド
豊中市 家庭ごみ事業課

豊中市創造改革課
(団体同士の引き合わせ)

市が回収した子ども服を無償提供するイベントを企画・実施が実現。子育て世帯の生活支援や、親同士のつながりづくりに寄与。



- ・ 仕組みづくりとそれに係る資金調達
- ・ 市民ニーズの把握

◆ 機密書類リサイクルの取組み ◆

NPO法人とよなか市民環境会議
アジェンダ21
豊中商工会議所
豊中市事業ごみ指導課
豊中市伊丹市クリーンランド

上記団体が連携し、機密書類の溶解処理によるリサイクルを安価に提供。紙ごみ削減と中小事業所のリサイクル活動を後押し。



- ・ 施設内のスペースや安全管理の関係上、事業規模の拡大には対応できない状況

協働団体

協働の取組み紹介

課題

今後の展望、活動のヒント



課題：継続性・発展性

解決のために必要なこと

関係者の意識づけ

気軽に参加できる仕組みの構築

他の世代への継承

未参加者へのアプローチ

ビジネスモデルの構築

他団体とのつながり

単独で解決するのは難しいけれど...

協働することで
解決する力に

人とのつながり

- ・ 近隣住民
- ・ 親同士
- ・ 協働相手

コミュニティの活性化

新たな課題への対応

さらに 協働による副次的
効果が生まれる

家庭でできること

豊中アジェンダ21を推進しよう

豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）には、豊中市に関わる一人ひとりの具体的な行動提案が書かれています。

Youtube「とよなか環境TV」も参考に、今日から始めましょう。

CHECK!

とよなか環境TV



事業所でできること

環境への取組み情報をHPに公開しよう

環境問題に取り組むことと、その取組みを広く発信することは、これからの事業活動の発展に欠かせない重要なアクションです。「とよなか市民環境会議」HPでは、市内の環境の取組みを多数紹介しています。

CHECK!

とよなか市民環境会議



目標 2

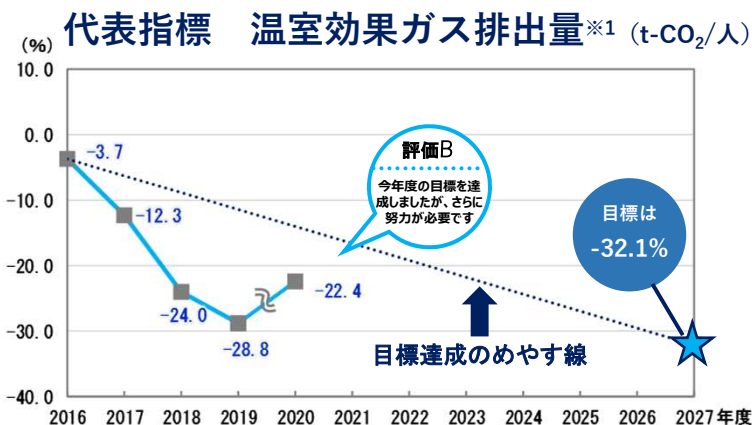
1人あたり温室効果ガス排出量 (t-CO₂) を令和9年度 (2027年度) までに、平成2年度 (1990年度) 比32.1%削減し、低炭素社会をめざす



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、第2次豊中市地球温暖化防止地域計画を改定
- ◆ 市民向けの省エネルギー化推進の取組みとして、家電の買い替えキャンペーン、住宅の健康診断、でんきの「見える化」モニター、エコドライブキャンペーンなどを実施
- ◆ 再生可能エネルギー、エネファーム、窓断熱リフォーム、ZEHへの補助金事業などを実施

2021年度の指標の進ちょく状況



市民1人あたりの温室効果ガス排出量は、目標達成のめやすを下回っています。令和2年度からエネルギー消費量の算定のもととなる市内の総販売電力量を把握できるようになり、令和元年以前と比較ができないため、前年比については参考となります。コロナ禍の影響により在宅時間が増加したことで、家庭部門でのエネルギー消費量が増加したと推察されます。



産業部門
温室効果ガス排出量
1990年度比※2 **58.3%**
減少

都市ガスの消費量が前年度から減少
(前年度から0.8ポイント減少)
目標は減少

家庭部門
市民一人あたり
エネルギー消費量※2 **14.195GJ/人**
年間

電力の消費量が前年度から増加
(前年度から2.2GJ/人増加)
目標は減少

運輸部門
温室効果ガス排出量
1990年度比 **31.7%**
減少

乗用車の減少、自動車の低燃費化が促進された影響で減少傾向
(前年度から0.7ポイント減少)
目標は減少

※1 電力の使用に伴う温室効果ガス排出量は、市内に供給する各電力事業者の毎年の排出係数(基礎排出係数)を使用して算出した推計値を用いています。
※2 2020年度以降、地域の部門別消費電力量のデータの出典が変更となったことから、2019年度以前の推計値と非連続になっています。

家庭でできること

環境にやさしいエネルギーを使おう

大阪府では、太陽光パネル・蓄電池を共同購入する参加者を募集しています。自分だけで買うより、みんなでまとめて買う方がお得! 厳しい条件をクリアした施工事業者のみ参加できるしくみなので、安心して購入を検討することができます。



事業所でできること

燃料電池自動車を導入しよう

燃料電池自動車とは、水素と酸素の化学反応によって発電し、モーターで走る自動車で、二酸化炭素を排出しない自動車です。豊中市役所では、燃料電池自動車「MIRAI」導入し、環境関連のイベントなどで市民の皆さんにご紹介しています。



取組紹介

再エネ100%電力の利用

学校法人あけぼの学園・社会福祉法人あけぼの事業福祉会

園では、子どもたちの将来を見すえ、持続可能なエネルギー利用や暮らしを実践する一環として、再エネ100%の電力を導入したり、オーガニック給食等に取り組んでいます。こうした園の取組みを保護者に伝えることで、家庭でも環境について考えるきっかけとなっています。



省エネルギー設備の導入

マリンフード株式会社

LED化や熱回収コンプレッサー等のハード面で、積極的な省エネルギー化に取組み、令和3年度に豊中市エコ市民賞を受賞しました。豊中工場ではLEDの交換がほぼ完了し、2021年度からは、捕虫器に設置する誘虫灯のLED化にも取り組み始めました。

目標 3

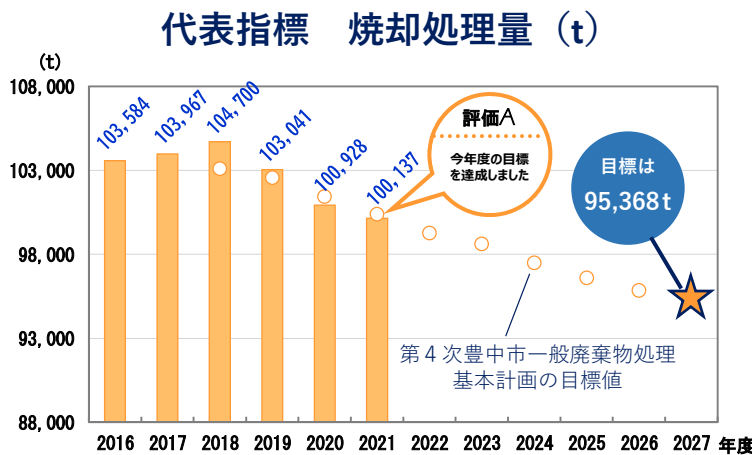
発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす



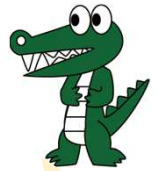
豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 排出されるごみのうち、大きな割合を占める食品ロスの削減に向け、食品ロス削減推進計画を策定
- ◆ プラスチックごみの削減に向け、市内公共施設6か所に給水機を設置
- ◆ 使用済小型電子機器等の再資源の促進に関する協定をリネットジャパン株式会社と締結

2021年度の指標の進ちょく状況



コロナ禍が続き、家庭系及び事業系ごみの排出量の割合が大きく変化し、家庭系ごみの排出量が増えています。年間の焼却処理量は減少しており、ごみの減量が進んでいます。



家庭系ごみ
1人1日あたり
排出量
(再生資源を除く)

419g

コロナ禍による新たな生活様式が定着化し、発生抑制及びリサイクル率の向上等により、排出量が減少したと推察
(対前年5.0g減少)
目標値は約386g

事業系ごみ
排出量
(再生資源を除く)

年間
37,244t

コロナ禍による休業要請や事業活動の自粛等が続いたこともあり、排出量は減少
(対前年188t減少)
目標値は約38千t

リサイクル
率

年間
16.3%

リサイクル率は上昇していますが、これは、コロナ禍が続き、宅配やテイクアウトの利用増に伴い容器包装等の利用が増加し、再生資源量が増加したことが要因
(対前年0.3ポイント増加)
目標値は約19.3%

家庭でできること

充電式電池の処分はお近くの回収ボックスへ

スマートフォンやデジタルカメラ等の小型家電製品の多くに使用されている充電式電池は、不燃ごみとして排出されると収集車両や処理施設の火災事故につながります。

充電式電池は、市内の公共施設や商業施設に設置している回収ボックスで回収しています。詳しくは市HPをご確認ください。

事業所でできること

需要予測で食品ロスの削減に取り組みましょう

これまで経験と勘に頼っていた来客予測を、データ分析やAI活用などで体系的に行う動きが進んでいます。

季節や気温、天候、販売データなどから商品の需要予測を行い、作り過ぎ、仕入れ過ぎによるロスの廃棄量を減らしましょう。

取組紹介

豊中市LINE公式アカウントで
ごみの分別方法を検索

家庭ごみ事業課

チャットボット（自動応答）によるごみの分別案内サービスを開始。ごみと再生資源の分別に関する質問に24時間、AIが自動で応答します。



初の優秀エコショップに認定

daiei
(株)ダイエー

「ダイエー」は、「ごはんがおいくなるスーパー」というスローガンを掲げて、「食」を基軸とした様々なライフスタイルに応じた商品・サービスを提供するとともに、社会・環境に貢献する活動に取り組んでいます。



目標 4

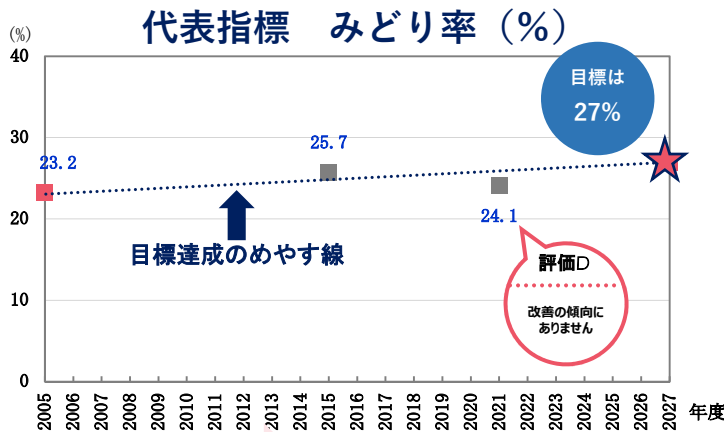
みどり率27%で心豊かな豊中らしい まちをめざす



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 緑化重点地区に定める市南部地域において「みどりのフォーラム」、「みどりのつどい」を初開催。広く緑化の啓発を実施
- ◆ みどりの現状および緑被量の把握・分析を行うため、緑被量調査を実施
- ◆ 多様な視点からみどりに対する市民の意見を整理するため、市民意識調査を実施

2021年度の指標の進ちょく状況



代表指標のみどり率は、開発行為や自然災害の影響による樹林・樹木の減少、草地・芝地・屋上緑化の増加や樹木の生育状況を総合して、減少傾向となっています。



みどりに対する
満足度

75.0%

前回調査（2017年度）の78.3%よりやや減少しているものの、目標値（70.0%）以上で推移

（前回から3.3ポイント減少）
目標値は70.0%

みどりに関する
イベント
参加者数

年間
5,691人

コロナ禍の影響の中、対策を講じて開催したイベントもあり、前年度より増加

（2018年度からの累計36,005人）
目標値は累計150,000人

市民1人あたりの公園・
緑地面積

累計
7.09m²/人

公園面積に変更はありませんが、人口が減少したため、昨年度より微増

（前年度から0.02m²/人増加）
目標値は7.17m²/人

家庭でできること

みんなで作ろう 花とみどりの名所

花いっぱい運動や公園自主管理活動など市民の地域活動により維持され、多くの人に親しんでもらっている花壇などを「みんなで作る花とみどりの名所」として、その団体や活動とともに市HPやイベント等で紹介しています。ぜひご参加・ご応募ください。

詳しくは公園みどり推進課まで（06-6843-4141）

事業所でできること

公園や道路など公共の場をみんなできれいに！ ～アダプト活動～

アダプトとは「養子にする」という意味。公共の場所を我が子のように面倒を見て手入れする活動をアダプト活動といいます。

豊中市では、アダプト活動団体名を表示したサインボードの設置、清掃用具の貸出し等を行っています。

詳しくは美化推進課まで（06-6858-2276）



取組紹介

身近な里山「島熊山」を守る活動

島熊山緑地協議会

島熊山は、万葉集にも詠まれる歴史に名を残す山で、市内で最も多くの在来の植物が見られ、数多くの野鳥や昆虫などが生息する里山です。現在は、島熊山緑地協議会が中心となって市と協働で保全活動や自然観察会を続けています。



地域の清掃活動への取り組み

大商学園高等学校

豊中市のアダプト活動として、阪急電鉄服部天神駅から大商学園高等学校までの通学路を中心に、運動系クラブに所属している生徒と顧問の教諭が清掃活動を行っています。たばこの吸殻などをポイ捨てしにくい地域づくりにこれからも取り組んでいきます。



目標 5

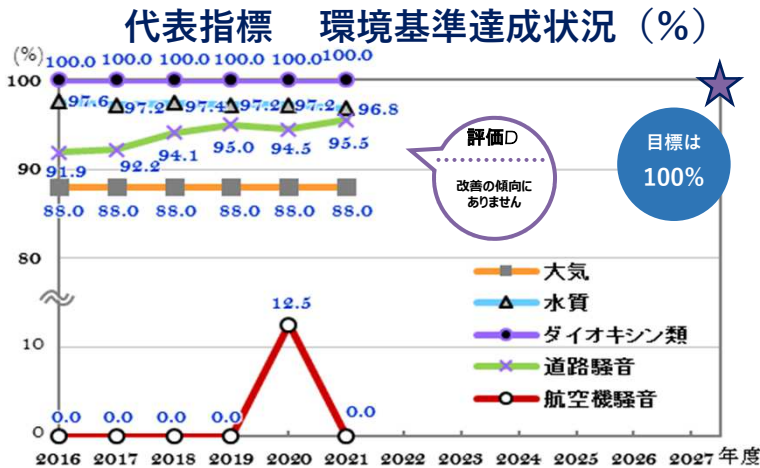
環境基準の達成状況100%で 快適な都市環境をめざす



豊中市の2021年度の取組み

- ◆ 一時的に暑さから逃れ休憩できる「クールスポット」を市有施設約70か所に設置
- ◆ 工場、事業場に水質汚濁や大気汚染防止のための立ち入り検査
- ◆ 開発行為において、壁面緑化や屋上緑化など多様な緑化計画を協議

2021年度の指標の進ちょく状況



大気は、光化学オキシダント以外はすべて基準を満たしています。
水質は、pH及び大腸菌群数以外はすべて基準を満たしており、良好な水質を維持しています。
ダイオキシン類は環境基準達成率100%、道路騒音は、環境基準達成率が年々向上しています。



<p>年間</p> <p>熱帯夜数 (3地点平均日数)</p> <p>39日</p> <p>平年よりも雨の日が多く、これに伴い熱帯夜数も減少 (前年度から7日減少) 目標は減少</p>	<p>累計</p> <p>雨水貯留タンク 設置件数 (助成に係るもの)</p> <p>363件</p> <p>昨年度に比べ、減少しましたが、一定数の需要があると想定 (今年度10件。前年度13件) 目標は増加</p>	<p>年間</p> <p>大気に関する 注意喚起回数</p> <p>0回</p> <p>光化学スモッグ注意報等の注意喚起発令はありませんでした (前年度から6回減少) 目標は減少</p>
---	---	--

家庭でできること

打ち水で夏の暑さをやわらげよう!

打ち水は、地面の表面温度を下げる昔ながらの暑さ対策。朝に打ち水をするとうち水の温度上昇がゆるやかになり、夕方に打ち水をするとうち水の寝苦しさをやわらげてくれます。ベランダにも効果的。お風呂の残り湯などを利用することで、さらにエコに!



事業所でできること

アスベストを適切に処理しましょう

大気汚染防止法が改正され、すべての石綿を含有する建築材料が規制の対象になりました。解体等工事では、発注者と施工者が、法に基づき石綿に関する事前調査、適切な石綿飛散防止対策を行う必要があります。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyoshohido/asbestos/>

大阪府HP



取組紹介

豊中市伊丹市クリーンランドが
第15回おおさか優良緑化賞を受賞
豊中市伊丹市クリーンランド

「森の中の再生工場」をコンセプトに、建物の壁面緑化や芝生ひろばを整備するなど、市民に愛され、地域の景観形成にも寄与する空間づくりを進めています。



無添加コロッセを通じた環境への取り組み
合同食品株式会社

小さな子供にも安心できる素材と製品づくりを追求し、材料の生産から販売まで人に優しい無添加素材を使用。

地元豊中産無農薬ジャガイモの使用など環境に配慮した取組みでエコ市民賞を受賞しました。



豊中市環境審議会からの評価

市民・事業者・市民団体・学識経験者などで構成された豊中市環境審議会において、環境基本計画に関することや環境の保全および創造に関する基本的事項を調査審議しています。豊中市環境審議会から、環境目標に対する取組みの評価をいただきました。

目標 1

- 今回の意見交換会の議論から、さまざまな世代の多様な主体が相互に協力しながらリユース・リサイクルのしくみを作っており、つながりを広げていることなどが豊中市の特長といえます。また、多様な人々が協働でつながることで、単独では難しかった課題が解決したり、協働で取り組むことを通じて、コミュニティ活性化などの副次的な効果も生まれています。更に、こうした信頼関係や相互の繋がりそのものが、地域の力となり、まちが持つ重要な価値の一つとなっていることもわかりました。こういった成果を広く共有することで、より協働の取組みが進んでいくと思われまます。
- 環境関連の各種イベントや講座等については、コロナ禍の影響で、対面での開催が難しい状況が続いていますが、インターネットを最大限活用し、オンラインイベントやSNS、動画等、さまざまな手法で創意工夫を行い、普及啓発活動の新たな取組みが進んでいます。

目標 2

- 今回から市域の総販売電力量が把握できるようになり実態に近い数値が出せるようになったため、前年との比較はできませんが、1人あたりの温室効果ガス排出量は目標達成のめやすを下回っており、これまでの取組みの成果が表れているものと考えられます。
- 令和2年度（2020年度）は、コロナ禍の影響で市民のライフスタイルやビジネススタイルが変化し、これに伴いエネルギーの使い方も大きく変化しています。このような変化も踏まえ、昨年度改定した地球温暖化防止地域計画に基づき、2050年ゼロカーボンに向けてめざすべき方向性をしっかりと見すえて、建物や設備機器の省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用などのハード対策を着実に推進するとともに、日常的な取組みを徹底する意識を醸成するなど、取組みを着実に推進する必要があります。

目標 3

- 令和2年度（2020年度）以降、コロナ禍の影響で家庭における消費の機会が増える新しい生活様式が定着化し、それに伴い家庭系ごみの排出量が増加しています。特に、テイクアウトの利用増によるプラスチックごみや食べ残し・手つかず食品等による食品ロスの増加が見込まれることから、発生抑制・再利用・質の高いリサイクルをより一層推進し、それらの削減に取り組む必要があります。
- 今後は事業活動が徐々に再開され、事業系ごみ排出量の増加が予測されますが、現状の水準を維持するよう、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。

目標 4

- みどり率は、里山保全活動など、みどりを守り育てる活動が行われているものの、開発行為等の要因で前回調査より樹林・樹木が減少しており、公園や道路だけでなく私有地についても、敷地内緑化等の更なる推進による、みどりの確保や育成に取り組む必要があります。
- 一方、みどりに対する満足度は引き続き目標値を満たしており、市民が身近なみどりに目を向け、愛着をもってみどりに接するよう、継続的に啓発を行っていく必要があります。
- 昨年度に引き続き、コロナ禍の影響でイベント等を中止・縮小した影響があるものの、昨年度に比べて改善傾向が見られることから、引き続き市民ニーズに応じたイベントを開催するなど、参加者数の増加を目指す必要があります。

目標 5

- 生活環境について、航空機騒音を除いては、道路騒音が年々改善するなど、市民や市の取組みの成果が現れています。
- 今後、地球温暖化の影響により熱帯夜や短時間の大雨の増加などが予想されるため、引き続き気候変動の緩和策と適応策の両面から施策を推進する必要があります。



ご意見やご提案をお聞かせください

右の二次元バーコードから、「とよなかの環境・速報版」を読んで疑問点や各施策に関する要望、これから取り組むべきことなどにご意見やご提案をお寄せください。

2023年（令和5年）3月発行の年次報告書等で紹介いたします。



豊中市HP

